

TGM

縦型CNC加工機

多様な加工に1台で対応

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260)

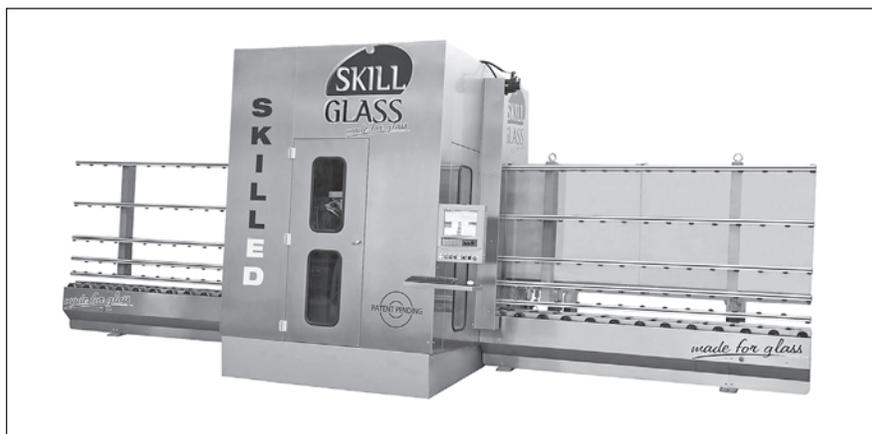
は、イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D」、縦型六角開け・ミールリング加工機「SKILL DRILL」、縦型エッジング・糸面取り機「SKILL SFILL」などを販売している。スキルグラス社は縦型加工機専門メーカー。縦型加工機は平型と比べてスペースを取らないというメリットがあり、工場スペースに限りがあることが多い日本に適する。「SKILL E-D」は特殊ガラス保持搬送システムの採用で加工のタイムロス削減し、最小加工寸法でのミールリング、六角開け加工を可能にした。優れたこの機能によって、海外では販売実績が増えているという。同社は客の省人化、省力化ニーズに合わせて、さまざまなガラス加工設備、資材を提案する。

限られた工場スペースに

縦型CNC加工機「SKILL E-D」は、優れており、仕様書に明示されている。

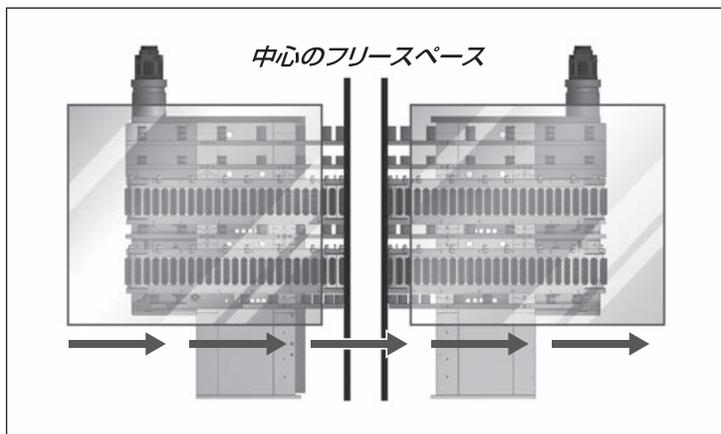
一般的にはサクシオンカップが加工を終えたガラスを下ろし、再度載せエリアで新しいガラスを保持するまで待つ必要があり、生産のタイムロスにつながっていた。特殊サクシオンベルトの特長ガラス保持搬送システムの採用で、加工が終わったガラスを下ろす間の待ち時間が発生しない。連続してガラスの投入が可能になり、高い生産性を確保する。

を実現する。



イタリア・スキルグラス社の縦型CNC加工機「SKILL E-D」

通常の加工設備の最小加工寸法は外周研磨だけで、六角開け、ミールリング加工をすることが難しかった。特殊ガラス保持搬送システムの間にスペースができるので、最小加工寸法でのミールリング、六角開け加工を可能にした。



特殊ガラス保持搬送システムの採用で、加工のタイムロスを削減して生産性が向上

た。最小加工寸法は600×300mm、最大加工寸法は3000×2000mm、4500×2600mm、6000×3210mmの3タイプがある。スキルグラス社は1999年創業。前身の会社は1980年代に平型加工設備をガラス・木材加工メーカーに提供していた。2001年からガラス業界だけに絞る、縦型加工設備を開発。競合メーカーが平型、縦型の両方の加工設備を製造・販売する中、同社は縦型に特化。縦型加工設備の良しあしを知り尽くしているのが強みで、改善、改良を継続している。特に縦型CNC加工機では性能面で他社を圧倒。年間30台前後を販売している。